

2020年10月中旬発売予定

# 佐賀町エキジビット・スペース

## 1983-2000

### 現代美術の定点観測



撮影：三好耕三

日本の現代美術が飛躍的に発展した1980年代、世界のアートシーンには、ドイツにクンストハレがあり、アメリカではニューヨークのPS1が先鞭をつけるなど、新しい作家を生むインフラストラクチャーの開発が多く見られました。

そのような状況の中、パルコなどの企画広告ディレクターであり、プライベートブランドの先駆けでもある「無印良品」の発案立ち上げなどに関わった小池一子は、東京都江東区佐賀にあった食糧ビル(1927年竣工)を修復し、1983年に佐賀町エキジビット・スペースを開設しました。「美術館でも商業画廊でもない」もう一つの美術現場を提唱し、発表の場を求めるアーティストに寄り沿う姿勢を打ち出す実験的な展示空間として、美術、デザイン、ファッション、建築、写真といった従来のジャンルを超えた、日本初の「オルタナティブ・スペース」として海外からも注目される存在となりました。行われた展覧会は106回、関わったアーティストは400人以上にのぼり、2000年12月に幕を閉じるまで、多種多彩な現在進行形の美術を発信し続けました。

本書は、その一連の活動を「定点観測」という言葉に集約し、1983年から2000年までの全展覧会会場風景と、当時出展した作品約50点を展示する展覧会のカタログをかねた、佐賀町エキジビット・スペースと、日本の現代美術の軌跡を辿る決定版です。

- 1983年から2000年までの全展覧会会場風景(写真:林雅之ほか)と、各展覧会概要
- 佐賀町エキジビット・スペースに出展した25作家の作品約50点  
出品作家:戸村浩、ジェリー・カミタキ、端聡、駒形克哉、みねおあやまぐち、岡部昌生、野又稜、剣持和夫、吉澤美香、大竹伸朗、シェラ・キーラー、杉本博司、元慶煥、森村泰昌、堂本右美、滝口和男、ヨルク・ガイスマール、黒川弘毅、倉智久美子、立花文穂、オノデラユキ、白井美穂、岡村桂三郎、廣瀬智央、日高理恵子
- 執筆:田野倉康一(詩人)、小池一子(佐賀町アーカイブ主宰)、谷内克聡(群馬県立近代美術館)

展覧会 佐賀町エキジビット・スペース 1983-2000 現代美術の定点観測  
会期:2020年9月12日(土)ー12月13日(日) 会場:群馬県立近代美術館



定価:3,500円(税別)

A5判変形(180×216 mm)  
322頁/ハードカバー  
写真:林雅之ほか  
デザイン:菊地敦己  
日本語/英語  
ISBN978-4-908062-33-9 C0070

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX: 03-3721-1922

mail:info@tsubamebook.com  
TEL:03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)     ご担当: 様	新刊 HeHe	www.hehepress.com mail: info@hehepress.com 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人
	注文数	佐賀町エキジビット・スペース 1983-2000 現代美術の定点観測  ISBN978-4-908062-33-9 C0070 定価:本体3,500円(税別)